

## 第55回 埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議 概要

1. 日時：令和4年3月15日（火）17：00～18：30

2. 会場：庁議室

3. 委員（敬称略 五十音順）

池田 一義 一般社団法人埼玉県商工会議所連合会 会長

金井 忠男 埼玉県医師会 会長

川名 明彦 防衛医科大学校 教授（WEB参加）

小谷野 和博 埼玉県中小企業団体中央会 会長

近藤 嘉 日本労働組合総連合会埼玉県連合会 会長（WEB参加）

坂木 晴世 国際医療福祉大学大学院 准教授（WEB参加）

讚井 将満 自治医科大学附属さいたま医療センター 副センター長（WEB参加）

竹田 晋浩 かわぐち心臓呼吸器病院 理事長・院長（WEB参加）

松田 久美子 埼玉県看護協会 会長

三村 喜宏 埼玉県商工会連合会 会長

4. 県側参加者

大野 元裕 知事

高田 直芳 教育長（WEB参加）

安藤 宏 危機管理防災部長（WEB参加）

山崎 達也 福祉部長（WEB参加）

関本 建二 保健医療部長

星 永進 保健医療部参事

本多 麻夫 保健医療部 参事

村田 暁俊 都市整備部長（WEB参加）

岸本 剛 衛生研究所 副所長

## 5. 主な意見

### ア 3月22日以降の対応について

- ワクチン接種や治療薬等により、明らかに致死率が下がっていることから、様々な社会活動を動かしていく必要がある。また、医療体制の中での、コロナの重要性が低下するわけではないが、他の一般医療に対する気配りも相対的に上げていく必要がある。（川名委員）

### イ 3月22日以降における県民・事業者の皆様へのお願い（案）について

- 濃厚接触者のフォローアップなども徐々に緩和されていく状況にあることから、体調が悪い場合は飲食店やイベントには行かないような利用者に対する呼びかけも盛り込んでいただきたい。（川名委員）

### ウ 3月22日以降の学校における対応について

- 学校や部活を休みにすることにより、家庭や学校外で生徒同士が集まることで、むしろ感染リスクが高まる事例がある。学校や部活動でやるべき対策は既にわかっており、即応すれば大きな拡大には繋がらないということは過去の事例からも読み取れるので、部活動や登校の頻度を妨げないように対応していただきたい。（坂木委員）

### エ 今後の福祉施設における検査（案）について

- PCR検査は結果が判明するまでに時間がかかることから、オミクロン株の世代時間の短さには追いつけていないため、抗原検査を中心に実施することには賛同する。ただし、無症状者のスクリーニングで、その結果を鵜呑みにする状況が起こることが懸念されるため、陰性であっても症状があれば慎重に経過を見ろということを指導していく体制が必要である。（坂木委員）

### オ 感染者急増時体制→フェーズⅣへの移行について

- 病院において、4月に向けて新人が入り、マンパワーが落ちてしまうような時期を無事に過ごすためにも、オミクロン株のような特徴がある感染状況であれば、状況に合わせて、病床を縮小する方向をとっていただきたい。（松田委員）